

男女共同参画を目指して

福江中学校3年 清田彩月さん

最近よく聞くSDGs。その中にあるジェンダー平等の実現について、男女差別がなく、男女共同参画の社会を実現するためにはどうすればいいのか。私達の身の回りでどれだけ男女共同参画に向けての取組が行われているのか、改めて考えてみることにした。

私達の学校では、男女の平等を目指し、ジェンダーレス制服の取り組みが行われている。この取り組みが行われるまでは特に女子生徒から「冬に足が寒くてつらい。」「スカートをはくことが苦手。」などの意見が多くでていた。その意見を実際に先生に伝え、ジェンダーレス制服が実行された際には喜びの声がとても多くあがっていた。

しかし、それとは別に、まだ男女で分けられているものもある。委員会や学級の係決めなどもその一つだ。係の仕事に男女の人数の指定があることにより、やりたい係をすることができない人が多くでることがある。そうまでして人数指定する必要はないのではないだろうか。他にも名簿順を男女で分けていることにも疑問を持っている。男女で分けると、クラス替えなどがあっても、名簿順で前後の人はあまり変わらず、色々な人との関りを持つ機会が少なくなる。そして、現に高校生は男女を分けずに名簿順がつくられているため、分ける理由はあまりないのではないかと思う。改めて考えてみるとやはりまだ、男女の平等に向けて行われている取り組みよりも、行われていない取り組みの方が多いと感じた。そして、私達が制服などの取り組みが実行された際にしたように、何か困ったことや不満なことがあった際には、自らが声を上げることが大切だと感じた。

男女共同参画を実現させるためには、多くの人が声を上げて積極的に行動し、男女差別を無くす。そうすることで、学校や職場など、どこにいても自分らしく生きることができる。そんな、社会が作られていくのではないだろうか。